

大阪府立狭山池博物館 令和7年度特別展

古代河内湖沿岸の 地域開発と水運

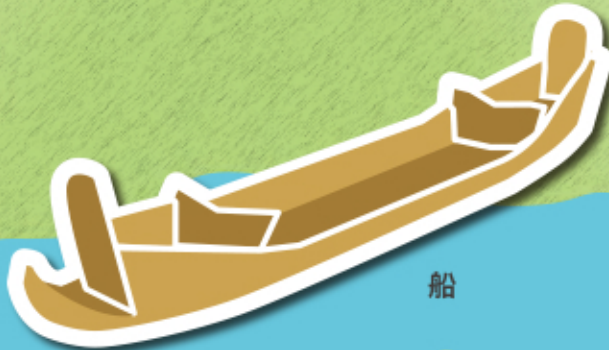
2025 8.30(土) ▶▶ 10.13(月祝)

主催 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館

後援 南海電気鉄道株式会社



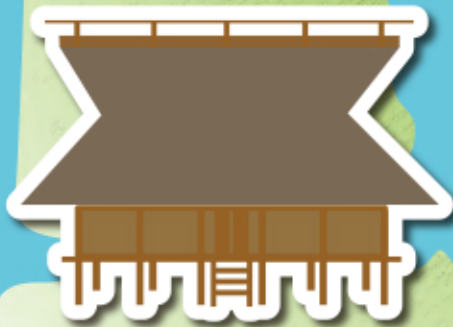
鉄鋌



船



子馬形埴輪



倉庫



船形木製品



製塩土器



治水灌漑の土木遺産を継承する
大阪府立 狭山池博物館
OSAKA PREF. SAYAMAIKE MUSEUM



所在地 / 〒589-0007 大阪狭山市池尻中2丁目
TEL / 072-367-8891 FAX / 072-367-8892
ホームページ / <https://sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>
入館無料 月曜休館（月曜が祝日の場合は翌日）

古代河内湖沿岸の地域開発と水運



子馬形埴輪
/ 忍ヶ丘駅前遺跡
四條畷市教育委員会蔵



製塩土器 / 長原遺跡
大阪市教育委員会蔵

【展示】

- 第1章 王権と港津
- 第2章 河内湖沿岸の地域開発
- 第3章 河内湖沿岸出土の船

【主な展示資料】

子馬形埴輪／忍ヶ丘駅前遺跡
四條畷市教育委員会蔵
馬具、玉類、製塩土器等／葦屋北遺跡
大阪府教育委員会蔵など

4・5世紀の倭国では、朝鮮半島の情勢変化の影響を大きくうけて、半島からの渡来系集団の移住が急増しました。古代河内湖沿岸では、倭王権が渡来系集団とその先端技術を政策的に受け入れ、地域開発と交易・物流ネットワークの整備が加速していきました。

今回の特別展では、王権の港として瀬戸内海と河内湖沿岸を結ぶ水運の結節点となった難波津、その交易と物流を支えた舟運関連資料を紹介いたします。あわせて河内湖沿岸の地域開発として鉄器生産・馬匹生産・塩生産・玉類生産の発展について考えます。



櫂 / 西岩田遺跡
大阪府教育委員会蔵



玉類 / 葦屋北遺跡
大阪府教育委員会蔵



船形木製品 / 西岩田遺跡
大阪府教育委員会蔵

歴史セミナー

第1回 9月6日(土)

特別展のみどころ
—古代河内湖と水運について—

河原 秋桜 (当館学芸員)

外来系土器からみた河内湖沿岸における地域間交流

飯塚 信幸 氏 (大阪府立近つ飛鳥博物館 学芸員)

第2回 9月13日(土)

5世紀の河内湖周辺と地域開発

山田 隆一 (当館学芸員)

第3回 9月20日(土)

港・船からみた古代日本と筑紫

大庭 康時 氏
(福岡市経済観光文化局埋蔵文化財課 元課長)

第4回 9月27日(土)

潟湖の時代
—山陰における弥生・古墳時代の船と津—

池淵 俊一 氏
(鳥根県教育庁文化財課 課長)

とき 各日とも午後2時から午後3時30分

ところ 当館2階ホール

定員 126名(無料・当日先着順)

ギャラリートーク

とき 9月15日(日)、9月28日(日)、10月5日(日) 各日とも午後2時から開催

ところ 当館1階特別展示室

休館のお知らせ

特定天井工事の実施に伴い、令和7年10月14日(日)から令和8年8月末まで休館させていただきます



大阪文化遺産魅力向上事業